










































経尿道的膀胱腫瘍摘除術を受けられる

説明医師

外来看護師

病棟看護師

様へ

月日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
経過	入院(手術前日)	当日(術前)	当日(術後)	術後1日目	術後2日目	術後3日目 午前退院
目標	心身共に安定した状態で手術を受けることができる		○麻酔合併症(頭痛・悪心・咽頭痛)をおこさない ○術後合併症(膀胱炎・血尿・深部静脈血栓症)をおこさない ○尿道カテーテル抜去後自然尿がある ○退院後の生活上の注意点が述べられる			
検査				採血をおこないます 		
食事	朝食は自宅で済ませて来院してください。21時以降絶食です		経口補水液は麻酔科医師指示通りに飲んでください。術後6時間後より水分摂取可能です。翌朝までは絶食です			
	 	 		  	  	
処置	体温・脈拍・血圧を測定します 	点滴の針を挿入します。時間になれば看護師が手術室へ案内します 	心電図モニターを装着します。酸素投与を6時間おこないます。術後尿道カテーテルが入っています	朝、心電図モニターを外します。朝、尿道カテーテルを抜きます。点滴が終了したら留置針を抜針します		 リストバンドを外します
		手術室で点滴を開始します 	手術中に抗生剤の点滴をおこないます。術後持続点滴(止血剤)をおこないます(500ml×4本) 	前日からの点滴4本投与したら点滴は終了となります 		
行動	制限ありません シャワー浴をしてください  	朝シャワー浴後手術着に着替えます。下肢深部静脈血栓症予防のために弾性ストッキングを履きます  	翌朝までベッド上安静となります。下肢深部静脈血栓症予防のため、ベッド上で下肢の運動をおこなってください 	朝から歩行できます。特に制限はありません。看護師が体を拭きます  	シャワー浴できます  	
	医師より説明 手術について 	看護師より説明 入院生活について 手術について  	医師より説明 ・手術の結果について  看護師より説明 ・術後の安静について ・酸素投与について ・下肢運動について 	医師の回診がありません  看護師より説明 ・尿量測定方法について 	 	医師より説明 退院後について  看護師より説明 ・退院後の療養生活について ・次回予約日について 

* 入院に際してこの用紙を必ずお持ちください。

* 入院に関して心配事がありましたらお申し出ください。

* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。また、定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。

* この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともありますので、予めご承知ください。

京都第一赤十字病院

17-C67-1

2019.11.7 版